

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		ファミリー・サポート・センター運営補助事業費 [ファミリー・サポート・センター事業補助金]									
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	26
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係					課長名	新海 隆弘				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書(ページ)	59		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 子育てをお手伝いしてほしい人、子育てをお手伝いしたい人。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 0歳から10歳までの児童人口(令和2年4月1日)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 安心して子どもを育てることができ、子ども達が心身ともに健やかに成長する。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 利用件数・活動時間					
	③ そのために何をしましたか。 社会福祉協議会の事業に補助を実施する。事業について、ホームページ、子育てハンドブックで周知する。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 利用会員数・協力会員活動者数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人		8,012	7,811					
	成果指標	②の数値	人		251・460.5	804・1,111					
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方 東大和市子ども・子育て支援事業計画、国交付金及び都補助金要綱							
活動指標	③の数値	人		57・62	48・89						
3 経費	事業費(実績)		円		8,727,155	9,630,664		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円		6,101,799	6,223,581					
		特定財源(国・都・他)	円		2,625,356	3,407,083					
		(うち受益者負担)	円		0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人								
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円								
	職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円		8,727,155	9,630,664						
4 環境変化等	(1) 開始年度	31 年度									
	(2) 環境の変化	これまで東大和市社会福祉協議会で実施してきた「さわやかサービス」について、平成31年度から国が示す「ファミリー・サポート・センター事業(さわやかサービス)」に位置づけた。市では、引き続き補助金を交付することにより、安定的な事業の推進を図った。									

事業名称	ファミリー・サポート・センター運営補助事業費 [ファミリー・サポート・センター事業補助金]		
担当部署・課長名	子育て支援	課 子ども家庭支援センター 係	課長名 新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 「短期間・短時間的に保育に欠ける状態を解消したい」との市民からの子育て相談において、解消策の一つとして本事業を案内している。市民からは本サービスの利用により、助かっているとの意見が寄せられ、子育て支援策として一定の役割を果たしている。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない 取組手法：⑤東大和市社会福祉協議会 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
7 課題	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 引き続き、事業主体である社会福祉協議会と連携し、本事業を構成する援助者側の会員（市民）の増加及びスキルアップを目指した研修活動に協力していく。
	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 引き続き「ファミリー・サポート・センター事業」としての安定した事業運営と適切な事業拡大を図っていくことが必要となる。 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 本事業を構成する援助者側の会員（市民）の増加及びスキルアップを目指した研修活動に向けた講習会にあたり、講習内容の検討、講師としての役割を担う。 (3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 引き続き「ファミリー・サポート・センター事業」としての安定した事業運営と適切な事業拡大を図っていくことが必要となる。
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 「ファミリー・サポート・センター事業」としての安定した事業運営と適切な事業拡大等により、事業の充実を図っていく。 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 高齢者等支援の所管である高齢介護課とともに、社会福祉協議会との十分な連携を行っていく。